

研究報告の報告状況
(期間:平成16年8月1日～平成16年11月30日)

	一般的名称	報告の概要
1	ポリスチレンスルホン酸ナトリウム	高カリウム血症の治療に対し、経口または注腸投与される、陽イオン交換樹脂であるポリスチレンスルホン酸ナトリウムとソルビトールとの併用により、25症例以上の腸管虚血の報告がある。また117例のポリスチレンスルホン酸ナトリウムを投与した術後患者のうち2例で腸管壊死を発現し、壊死を起こした部位付近にポリスチレンスルホン酸ナトリウムの結晶が観察された。
2	ラクツロース	急性肝性脳症に対するラクツロース、ネオマイシン併用群とプラセボ群との比較試験の結果、ラクツロース、ネオマイシン併用群で症状の変化のない症例もあり、併用療法の根拠がないことが示唆された。
3	コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム	HCV肝硬変合併患者に対する腎移植後、劇症肝炎に対してインターフェロン療法が奏功した1例
4	ワルファリンカリウム	Ginseng(アメリカ人参)はwarfarinの効果を減弱させる。
5	トポテシン	白人の癌患者において、UGT1A1*28遺伝子多型は、SN-38のAUC、SN-38グルクロン酸抱合体(SN-38G)とSN-38のAUC比ならびに塩酸イリノテカン(CPT-11)による好中球減少の程度との間に有意な相関性を示した。
6	塩酸ロメフロキサシン	XPAマウスでは野生株マウスと比較し、LFLXによる光発癌が誘発されやすく、energy transferの系を介して生成されたピリミジンダイマーを除去修復できないことがこれに関与していることが示唆された。
7	アスピリン	アスピリンは他のNSAIDsや利尿剤と比べ副作用によって入院することが多かった。
8	アスピリン	クロピドグレル単独投与よりアスピリンとの併用投与の方が生命を脅かす出血または大出血のリスクが高かった。
9	テガフル・ギメラシル・オテラシル	テガフル・ギメラシル・オテラシル内服症例51例、及びテガフル・ギメラシル・オテラシル+塩酸イリノテカン併用症例24例を評価したところ、グレード5の好中球減少を1例に認めた。
10	クエン酸シルденаフィル	塩酸バルденаフィルで認められる心臓再分極に対する作用は、クエン酸シルденаフィルで認められる作用と類似する可能性がある。
11	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	若年及び初産前から経口避妊薬の使用を開始した女性では、乳癌のリスクが増加する可能性がある。
12	コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム	新鮮Bell麻痺に対する大量ステロイド点滴静注療法(SD)と星状神経節ブロック(SGB)併用療法を行い、急死例を経験した。
13	フマル酸テノホビルジソプロキシル	テノホビルとジダノシンを併用した時、ジダノシンの血中濃度が上昇し、ジダノシン関連の副作用を発現する可能性が示唆された。
14	塩酸リドリン	塩酸リドリンの投与群において94.7%の発現率で動悸が認められた。
15	ケトプロフェン	局所用ケトプロフェンの使用がきわめて一般的になったため、皮膚科専門医が主に光接触皮膚炎をきたした患者の増大に直面することとなった。皮膚症状は重度かつ長期にわたるものが多く一部の患者には遷延性の光線過敏症がみられた報告がなされた。
16	塩酸パロキセチン水和物	アミトリプチン、フルオキセチン、パロキセチンのうち1剤のみによる治療を開始した患者における死に至らない自殺行為の相対危険率をドチエピン(国内未承認)による治療を開始した患者と比較したが、本質的な違いは認められなかった。
17	ヘパリンナトリウム	網膜多発血栓を合併し、ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)が強く疑われた1例
18	コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム	急速に多彩な病態を呈した肺アスペルギルス症の1例

	一般的名称	報告の概要
19	インフルエンザHAワクチン	インフルエンザ予防接種後に発症した複合性局所疼痛症候群タイプ1 (CRPSタイプ1)の1例
20	インフルエンザHAワクチン	インフルエンザワクチン接種後に、強い局所反応とネフローゼ症候群の再発をきたした1例
21	硫酸バリウム	注腸検査で使用した硫酸バリウム製剤が虫垂炎穿孔を契機とした腹部放線菌症(慢性的な炎症反応)を助長した可能性がある。
22	レノグラスチム(遺伝子組換え)	LLC細胞を植えたマウス担癌モデルにG-とM-CSFを投与すると腫瘍内血管密度及び腫瘍の増大が見られた。
23	麦門冬湯	患者が麦門冬湯を服用後、肝機能障害を起こし入院した1例
24	塩酸リトドリン	緑茶には β -アドレナリン受容体刺激薬の代謝に関与するSulfotransferase (SULT)に対する強い阻害効果があり、リトドインと同時に摂取するとリトドインのバイオアベイラビリティが上昇し、重篤な副作用が発現する可能性が示唆された。
25	アモキシシリン	本剤投与によりアレルギーによって誘発された急性冠動脈症候群の1例
26	シンバスタチン	妊娠3ヶ月間におけるスタチン製剤暴露の症例報告(新生児)において中枢神経系と肢の異常が見られた。
27	デキサメタゾン	デキサメタゾンを併用した乳児が体外膜酸素装置(ECMO)において、以前より短期間で治療できるという仮説を検証した結果、ECMOの最初の3日間に投与されるデキサメタゾンによって、ECMOの3日目までに肺損傷スコアは有意に改善するが、ECMO持続期間は顕著に短くならず、または生存率は増加しなかった。
28	アテノロール	アテノロール投与による重大な洞徐脈の1例
29	シンバスタチン	標準的な濃度のグレープフルーツジュースを、1日1回200mL程度づつ摂取しても、シンバスタチンや活性代謝物であるシンバスタチン酸の血中濃度は有意に上昇することが示唆された。
30	ワルファリンカリウム	ワルファリンとクランベリージュースとの間に相互作用がある。ワルファリンは主にCYP2C9で代謝されるものであり、クランベリージュースはCYP酵素を抑制する働きを持つフラボノイドを含有している。
31	ジクロフェナクナトリウム	ジクロフェナクナトリウムとTrikatu(アーユルベエダ処方でPiper nigrum、Piper longumの実及びZingiber officinaleの根を乾燥させたものを1:1:1の割合で含む)の併用により、ジクロフェナクのバイオアベイラビリティが低下する。
32	デキサメタゾン	デキサメタゾン単独あるいはデキサメタゾンを含む化学療法を行った結果、脳血管発作、静脈洞血栓症、深部静脈血栓症、grade4の高血糖及び低ナトリウム血症、肺塞栓症が認められた。
33	塩酸プロカルバジン	退形成性乏突起膠腫と退形成性乏突起星細胞腫の併用治療法:第II相試験に関する10年間の追跡最新データにおいて本剤によると考えられる脳症1例が報告された。
34	プレドニゾロン	プレドニゾロンにより重篤な上行弓部大動脈瘤が発生した例
35	リン酸デキサメタゾンナトリウム	早産児の慢性肺疾患を予防するために、スタンダード42日間治療、個別治療という2つのデキサメタゾン療法の有用性を検討した結果、神経の正常発達が半数以下であり、くも膜下腔の拡大を認めた。
36	トラネキサム酸	トラネキサム酸が中枢神経系のGABA-A受容体に抑制的に働き、痙攣などの興奮性亢進作用を有する可能性がある。
37	ウロキナーゼ	重症急性肺塞栓症治療の救命治療体系の検討を行ったところ、外科的塞栓摘除術を行う前にウロキナーゼを投与した症例が6例あり、大量出血のため新鮮凍結血漿等の投与を要したとあり、使用上の注意から予測できない発現率の重篤な出血が起こった可能性がある。

	一般的名称	報告の概要
38	BCG膀胱内用	BCG膀胱内注入療法後に生じたライター症候群の例
39	イホスファミド	イホスファミド化学療法を受ける癌患者において、脳症の発生率が高かった。
40	硫酸モルヒネ	長期的なモルヒネへの暴露は、リポ多糖類誘因性の炎症を増強させ、敗血症ショックの進行を促進させる恐れがある。
41	シクロホスファミド	B型肝炎保菌者及びB型肝炎感染から回復したことがある患者は、リツキシマブとCHOP(シクロホスファミド、ドキソルビシン、ビンクリスチン、プレドニゾン)療法の併用によりB型肝炎ウイルスが再燃する恐れがある。
42	アンピロキシカム	フロセミドとピロキシカムの相互作用によりフロセミドの効果が減弱し、うっ血性心不全の悪化を認めた。
43	アンピロキシカム	非ステロイド性抗炎症薬はフロセミドの作用を有意に阻害しそれらの作用強度は同等であった。
44	コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム	新鮮Bell麻痺に対する大量ステロイド点滴静注療法における急死例
45	メクロブラミド	疫学調査の結果、本剤により肝障害発症のリスクがあることが報告された。
46	メクロブラミド	疫学調査の結果、本剤により肝障害発症のリスクがあることが報告された。
47	塩酸ロメフロキサシン	XPAマウスでは野生株マウスと比較し、LFLXによる光発癌が誘発されやすく、energy transferの系を介して生成されたピリミジンダイマーを除去修復できないことがこれに関与していることが示唆された。
48	プレドニゾン	プレドニゾンにより重篤な破裂性腹部大動脈瘤を発症した1例
49	プレドニゾン	プレドニゾンにより重篤な上行大動脈瘤を発症した1例
50	マレイン酸チモロール	マレイン酸チモロールの点眼治療を行った結果、うっ血性心不全、心動脈塞栓が認められた例
51	ブデソニド	ブデソニド吸入用懸濁液投与前後(観察期、12週)での血漿コルチゾール値を比較した結果、血漿コルチゾール値の低下がみられた。
52	ピロキシカム	非ステロイド性抗炎症薬はフロセミドの作用を有意に阻害しそれらの作用強度は同等であった。
53	カルボプラチン	Performance Status 不良の未治療小細胞肺癌に対しパラプラチン、ペプシド併用化学療法を行い、治療関連死を3例(敗血症2例、放射線肺臓炎1例)認めた。
54	プレドニゾン	術前プレドニゾン投与量により、潰瘍性大腸炎に対する待機的腹腔鏡手術の合併症発症頻度の上昇が認められた。
55	スピロラクトン	RALES(無作為割付アルダクトン評価試験)の発表後、スピロラクトンの処方率や、高カリウム血症に関連する罹患率・死亡率が急増した。
56	シクロホスファミド	進行性リンパ性悪性疾患を呈する患者で、2-クロロ-2'-デオキシアデノシンとシクロホスファミドの併用療法を行うと、二次性癌(骨髄異形成症候群、急性骨髄性白血病、肺癌)が発生する恐れがある。
57	メクロブラミド	疫学調査の結果、本剤により肝障害発症のリスクがあることが報告された。
58	コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム	コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム投与によりヘルペス脳炎を発症した1例
59	メクロブラミド	疫学調査の結果、本剤により肝障害発症のリスクがあることが報告された。

	一般的名称	報告の概要
60	塩酸イリノテカン	高度リンパ節転移を伴う進行胃癌に対して実施した、CDDP+CPT-11併用術前化学療法+外科切除の第2相試験にて、3例の治療関連死が認められた。
61	塩酸イリノテカン	高度リンパ節転移を伴う進行胃癌に対して実施した、CDDP+塩酸イリノテカン1併用術前化学療法+外科切除の第2相試験にて、3例の治療関連死が認められた。
62	アロプリノール	CMV腸炎を発症し、Drug-induced hypersensitivity syndrome と考えられた1例
63	ジアゼパム	ジアゼパムを内服していて、両下腿に、掻痒を伴う円形の淡褐色斑が出現した。辺縁が軽度に隆起する淡褐色の不整形の環状斑であり、病理組織学的に苔癬型反応を認めたことより環状扁平苔癬と診断した。
64	アスピリン	最近発症した虚血性脳血管障害又は一過性脳虚血発作患者を対象とした大規模試験(MATCH)では、アスピリンとクロピドグレルの併用投与は、クロピドグレル単独投与と比べ、胃腸出血や頭蓋内出血等の出血リスクを上昇させる可能性がある。
65	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	細菌性敗血症の治療に従来の治療に加えて、ポリクローナル免疫グロブリンで治療した患者群と、プラシーボまたは無治療の患者群と死亡率で比較した無作為化試験についてシステマティックレビューとメタ分析を行った。その結果、分析対象とした21の臨床試験全てのメタ分析では、免疫グロブリン治療での相対的死亡危険率は0.77(95%CI, 0.68-0.88)であったが、質の高い臨床試験のみのメタ分析では相対的死亡危険率は1.02(95%CI, 0.84-1.24)であった。
66	ロキソプロフェンナトリウム	ロキソプロフェンナトリウムの内服により紅斑が増悪し、菌状息肉症様の薬疹が発現した1例
67	アミノ安息香酸エチル	内視鏡検査、挿管及び気管支検査等の目的で使用したベンゾカイン製剤により、メヘモグロビン血症が発症したという報告がFDAに対し5年間に132件あった。
68	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	バンコマイシン耐性Enterococcus (VRE)感染の癌患者におけるキヌプリスチン・ダルホプリスチンとミノサイクリン併用非盲検試験において、筋痛/関節痛の副作用が36%の頻度で発現した。
69	マレイン酸チモロール	マレイン酸チモロールの投与が行われた166症例の内、薬剤に関連する重篤な副作用として心動脈閉塞およびうつ血性心不全がそれぞれ1例に認められた。
70	ポルフィマーナトリウム	胸膜まで拡張した非小細胞肺癌(NSCLC)患者を対象に、光線を利用した治療法である術中光線力学療法(PDT)と外科手術とを併用した第2相試験において、外科手術とPDTによる死亡が22例中2例に認められた。1例は肺切除とPDT実施直後に発現した成人呼吸促進症候群(ARDS)で死亡し、他の1例は肺切除とPDT実施2ヶ月後に発現した肺炎により死亡した。
71	メシル酸プロモクリプテン	プロモクリプテン療法中に可逆性の重度拡張型心筋症が発現したという報告は本症例が初めての報告である。投与中止によって回復した。
72	濃グリセリン・果糖	エダラボンで見られる腎機能障害にセフェム系抗生物質とグリセロール製剤の併用が関与することが示唆された。
73	濃グリセリン・果糖	ラットにおいてフロセミドによる腎障害がセファロチンとグリセロール製剤の併用により増強された。
74	塩酸クロルプロマジン	精神科疾患にて向精神薬投与中の3症例で、合併した消化器疾患の加療を契機に悪性症候群を発症した。
75	ウロキナーゼ	血栓病患者に対してRheolyticな血栓摘出法であるAngioJet装置を用いて治療した場合と、ウロキナーゼ投与を用いた治療を行った場合とで無作為試験を行ったところ、溶血がそれぞれ、73%と38%起こった。
76	アスピリン・アスコルビン酸腸溶錠	血友病患者に発症したアスピリン製剤の関与が否定できない咽後間隙血腫の1例

	一般的名称	報告の概要
77	ピコスルファートナトリウム	高齢者を対象とした調査により、緩下剤の投与によって血漿ホモシステイン値が上昇することが認められた。
78	エトポシド	エトポシドを含む大量化学療法により汎血球減少が発現した1例
79	ヘパリンナトリウム	高齢者脳動脈瘤に対する血管内手術治療は70～79歳の破裂、未破裂動脈瘤、80歳以上の破裂動脈瘤に対して有効であった。
80	ヘパリンナトリウム	慢性腎不全による血液透析導入後にヘパリンと低分子ヘパリンに対しヘパリン起因性血小板減少症(HIT)を発症した1例
81	メフェナム酸	熱発および咽頭痛に対しセフジニル、メフェナム酸を投与。翌日より紅斑、一部水疱、びらんが出現し、中毒性表皮壊死症(TEN)型薬疹の疑いにて入院。ステロイドを投与したが、全身状態の改善はみられず、血漿交換療法を開始したところ、びらん部の乾燥化、全身状態の改善がみられた。
82	アスピリン	発熱、咽頭痛、右頸部腫脹が出現したためアスピリンを内服。2日後、右扁桃周囲膿瘍と診断され抗生剤を処方された。翌日より上気道炎に続いて右頸部腫脹と呼吸困難が出現。凝固因子製剤の投与にて血腫は自然に消失した。
83	デキサメタゾン	デキサメタゾンを含む化学療法を行った結果、grade3-4の深部静脈血栓症、下痢、低ナトリウム血症が認められている。
84	ジクロフェナクナトリウム	ジクロフェナク単独投与またはプレドニゾン等との併用投与の結果、胃腸出血、穿孔性十二指腸潰瘍、頭蓋内出血による死亡が認められている。
85	プレドニゾン	寛解導入療法中に合併した肺膿瘍に肺葉切除術を施行した急性リンパ性白血病の1例
86	塩酸ミキサントロン	ミキサントロンを使用した臨床試験において、本剤との関連性が完全には否定できない死亡例が報告された。
87	塩酸パロキセチン水和物	パロキセチンを含む抗うつ薬主要4種(SSRI、三環系、モノアミノキナーゼ阻害薬、非定型AD)の使用と乳がん発症リスク上昇については使用期間との関連性は認められなかった。
88	プレドニゾン	自己免疫疾患の患者においてプレドニゾン長期投与中に大血管病変を発症し大動脈瘤を発症した例
89	ハロペリドール	著明な上部消化管出血を呈した悪性症候群による急性腎不全の例
90	ゼラチン	肝動脈塞栓療法とスマンクス肝動注療法の併用において肝動脈塞栓療法を用いないスマンクス肝動注療法に比べ、AST、ALT等の上昇を高率に認めた。
91	アルファカルシドール	アルファカルシドール服用中に高カルシウム血症と腎不全を発症した1例
92	ジクロフェナクナトリウム	ミゾリビン使用中の関節リウマチ患者にジクロフェナクナトリウム坐剤を使用したところ、嘔気・嘔吐、高尿酸血症、急性腎不全、血小板減少が発現した1例
93	インドメタシン	超低出生体重児におけるIVH予防のための低用量インドメタシン静注の有効性及びそれに伴う合併症についての研究報告
94	塩酸ドスレピン	抗うつ剤投与開始後の自殺行動のリスクは、dothiepin使用患者と amitriptyline、fluoxetine、および paroxetine 使用患者との間で類似が見られる。抗うつ剤投与開始の最初の月、特に最初の1日から9日の期間に自殺行動のリスク上昇が認められる。

	一般的名称	報告の概要
95	ワルファリンカリウム	ワルファリンとクランベリージュースとの間に相互作用がある。ワルファリンは主にCYP2C9で代謝されるものであり、クランベリージュースはCYP酵素を抑制する働きを持つフラボノイドを含有している。
96	ハロペリドール	定型抗精神病薬の2年間治療患者ではHR 2.0(CI:1.2-3.3)、4年間治療患者ではHR 0.9(CI:0.6-1.4)であり、定型抗精神病薬の2年間治療患者において定型抗精神病薬非治療患者よりインスリン治療移行率が高かった。
97	塩酸デクスメトミジン	塩酸デクスメトミジン投与による有害事象(低血圧、嘔吐)の発生率は日本人より欧米人のほうが高かった。
98	セボフルラン	セボフルレン通過時、二酸化炭素吸収剤において経時的な温度変化が認められた。なお、セボフルレン濃度の影響はなかった。
99	スピロラクトン	無作為スピロラクトン評価試験発表は、高齢患者におけるスピロラクトンの処方率及び高カリウム血症に関連する罹患率、死亡率の急激な増加に関連していた。
100	塩酸モルヒネ	塩酸ロピバカインと塩酸モルヒネの術後硬膜外持続投与により、収縮期圧が80mmHg以下に低下した症例が21例報告された。
101	プレドニゾン	自己免疫疾患の患者においてプレドニゾン長期投与中にノカルジア脳腫瘍を発症し外科治療を施行した。
102	シベレスタットナトリウム水和物	急性肺障害患者を対象に実施した第II相臨床試験において本剤の有効性が認められなかった。
103	インターフェロン アルファ(BALL-1)	1歳未満の乳児の痙攣性両麻痺および運動性発育障害の発現には、インターフェロン投与の関連性が疑われる。
104	ケノデオキシコール酸	マウス及びラットの結腸において非遺伝子毒性の発癌物質及びプロモーターの投与によるDNAの低メチル化が生じた。
105	乾燥弱毒生麻しんワクチン	麻疹の予防接種により再発したと考えられた特発性肺ヘモジデローシスの1例
106	インドシアニングリーン	網膜表面の視認性が良好な場合はICG染色はしないほうが良い。しかしながら網膜表面のはっきりした像が得られない場合は低用量のICG使用は受け入れられる。ERTやOCTおよび蛍光血管造影の結果から視力の差は色素上皮細胞や網膜の障害だけでなく神経節や軸索への障害が考えられた。
107	イコサペント酸エチル	ワルファリン投与患者がイコサペント酸エチルを併用するとワルファリンの効果が減弱する。
108	ハロペリドール	抗精神病薬治療を受ける高齢の患者において、糖尿病のリスクが上昇する恐れがある。
109	スピロラクトン	疫学調査の結果、本剤とACE阻害薬の併用により、高カリウム血症による入院とそれに伴う院内死亡率が増加することが報告された。
110	麦門冬湯	著しい低カリウム血症と代謝性アルカローシスを伴った偽性アルドステロンの1例
111	アモキシシリン	閉塞性細気管支炎による呼吸機能障害を遺したSJSの1例
112	フェンタニル	フェンタニルはナチュラルキラー細胞活性を抑制することにより、腫瘍転移のリスクを増加させる恐れがある。
113	塩酸ミトキサントロン	ミトキサントロンを使用した臨床試験において、本剤との関連性が完全には否定できない二次性悪性疾患が11例報告された。

	一般的名称	報告の概要
114	塩酸ミキサントロン	ドセタキセルとミキサントロンのホルモン不応性前立腺癌に対する併用療法の効果と安全性についてのPhase2トライアルの結果が報告された。
115	塩酸ミキサントロン	ミキサントロンの進行性の多発性硬化症に対する効果を評価するための試験 (RENEW Study) の現状報告から、塩酸ミキサントロンの安全性と忍容性を評価した。
116	アセトアミノフェン	アルコール常飲者によるアセトアミノフェン服用は肝障害を起こすリスクを上昇させる。
117	アセトアミノフェン	アセトアミノフェン肝毒性
118	アセトアミノフェン	アルコールとアセトアミノフェンの相互作用による肝障害の報告
119	乾燥弱毒生麻疹ワクチン	麻疹の予防接種により再発したと考えられた特発性肺ヘモジデロシスの1例
120	乾燥弱毒生麻疹ワクチン	麻疹の予防接種により再発したと考えられた特発性肺ヘモジデロシスの1例
121	ホリナートカルシウム	本剤を含む併用療法に関する臨床試験において、本剤との因果関係を否定できない死亡例が報告された。(好中球減少性敗血症による死亡例)
122	ホリナートカルシウム	本剤を含む併用療法に関する臨床試験において、本剤との因果関係を否定できない死亡例が報告された。(化学療法により誘発された敗血症による死亡例)
123	ホリナートカルシウム	本剤を含む併用療法に関する臨床試験において、本剤との因果関係を否定できない死亡例が報告された。(肺炎球菌性敗血症による死亡例)
124	オメプラゾール	プロトンポンプ阻害剤の使用によりClostridium difficile性下痢の発現リスクが増加する。
125	アザチオプリン	腎移植後にP53遺伝子変異を伴った異時性重複がんが発生した。
126	エストロゲン〔結合型〕	長期のホルモン補充療法 (HRT) により乳癌発現のリスクが増加する。
127	塩酸バンコマイシン	オーストラリア西部におけるheteroresistant vancomycin-intermediate Staphylococcus aureus (hVISA) の出現。
128	プレドニゾロン	BKウイルス感染による移植腎機能低下を認めた1例
129	日本脳炎ワクチン	日本脳炎ワクチン接種後に見られた急性散在性脳脊髄炎の1例
130	乾燥弱毒生麻疹ワクチン	麻疹の予防接種により再発したと考えられた特発性肺ヘモジデロシスの1例
131	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	A型肝炎ワクチン接種5日後にギラン・バレー症候群を発症した健常小児の1例
132	乾燥濃縮人血液凝固第8因子	組換え血液凝固第VIII因子による補充療法中の心筋梗塞の1例
133	オメプラゾール	プロトンポンプ阻害剤 (PPI) 使用者は、非使用者と比較し、C. difficile性下痢のリスクが増加する。
134	レノグラスチム (遺伝子組換え)	G-CSFを使用した悪性リンパ腫症例でG-CSFが心膜炎の原因と考えられた。